

●燃費性能 (2)

■燃料の無駄を低減する技術

・PGM-FIによる、効率の高い燃料供給

スロットル開度やエンジン回転数に加え、外気温や冷却水温度などのデータを連続的にECUで演算し、燃料の噴射量と点火時期を最適制御します。

・燃焼効率の改善

PGM-FIによる最適な点火時期制御とともに、燃料の持つエネルギーをより効率よく取り出すために、吸気ポートの形状を最適化することでシリンダー内での混合気の流速を上げて燃料と空気の十分な攪拌を促します。

・アイドリングストップ・システム

停車3秒後、自動的にエンジン停止し、発進時はスロットル操作だけでスムーズに再発進するアイドリングストップ・システムを標準装備しました。

これらの低燃費技術により燃料消費率\*<sup>1</sup>は、52.0km/L (国土交通省届出値：60km/h定地燃費値\*<sup>2</sup>〈2名乗車時〉)、49.5km/L (WMTCモード値 (クラス 1) \*<sup>3</sup>〈1名乗車時〉) の燃費を実現しました。

\*1. 燃料消費率は、定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法、車両状態(装備、仕様)や整備状態などの諸条件により異なります。

\*2. 定地燃費値は、車速一定で走行した実測にもとづいた燃料消費率です。

\*3. WMTCモード値は、発進、加速、停止などを含んだ国際基準となっている走行モードで測定された排出ガス試験結果にもとづいた計算値です。走行モードのクラスは排気量と最高速度によって分類されます。

赤字は2014年11月訂正